

平成30年度 事業報告書

学校法人 花園学園

(1) 建学の精神

「禅のこころ」を育てる

花園学園は明治五年に臨済宗妙心寺の山内に宗門の子弟の教育機関として創設された、「禅のこころ」を建学の精神とする学園であります。創立以来歴史を積み重ねて、今年で145年を迎え、現在では社会の要望に応え広く門戸を開いて、学生数約1,800名の大学、約1,200名の中学・高等学校、約200名の幼稚園を擁する学園に成長して参りました。明治、大正、昭和、平成の四代にわたる日本は、まさに激動の時代でした。幾度の危機を乗り越え、今日を迎えることが出来たのは、その根本において、創立以来、建学の精神を一貫して堅持してきたことによるものであります。

本学園が目的とするのは、単なる知識の獲得のみではなく、あくまでも実践的な「坐禅」を通しての心のふれあいに基づく、一对一の直接的な人格教育であります。しかも、手取り足取り知識を教えるのではなく、自ら解決せしめて、自らに知らしめる創造的な教育であり、これが即ち、禅的訓育と宗教的情操の陶冶に他なりません。

花園大学は、開創当時、臨済宗教団の近代化を図ることを目的とし、その窓口として重要な意義を持っていました。しかし、近代を経て、グローバル化に突入した現在、大学は全く異質の使命を持つこととなりました。今、混迷せる社会に、自らの手で新しい価値を構築しようと、人々はもがいています。教育機関としての大学の使命として、そういう時代的要求に正しく対応するべく、努力を続けています。

花園中学・高等学校は、教育方針として、1. 「自主的な判断力を養う」 2. 「連帯意識を育む」 3. 「進取の気風を養う」を掲げています。教育上の実践として、生徒自身の目的意識を持った日々の学習の継続、より高い目標に挑戦する気概と自立心、さらに知徳体のバランスのとれた豊かな人間性を育み、各人の意見や自主性を尊重しつつ、自由に自分自身の目標に向かって、正しく判断し行動することを身につける教育を行っています。

洛西花園幼稚園は、仏教的環境の中で人間形成の基礎が培われ、情操豊かな園児を育むことを目標として、
1. 「命を大切に、感謝する心を育てる」 2. 「落ち着いた生活の中で自ら学び、考える力を育てる」
3. 「たくましく生きる力を育てる」を掲げています。

(2) 学校法人の沿革

明治5	般若林(三年制)を創立、明治31年に普通学林と称する
明治40	花園学院と改称して、中学部・高等部に分ける
昭和23	学制改革により臨済学院中学部を花園高等学校に改制
昭和24	花園大学設立 仏教学部仏教学科設置
昭和26	財団法人妙心寺派教学財団を学校法人妙心寺派教学団に組織変更
昭和27	花園高等学校 商業科を新設
昭和39	花園大学 仏教福祉学科設置
昭和41	学校法人妙心寺派教学団から学校法人花園学園に改称 花園大学 文学部設置
昭和43	花園高等学校 自動車科を新設 (平成10年4月より自動車工学科)
昭和52	花園大学 総合移転
昭和53	花園高等学校 普通科に特別進学コースを新設
昭和55	花園大学 文学専攻科設置
昭和56	洛西花園幼稚園設置
昭和57	高等学校寄宿舎(雪江寮)閉寮
昭和61	花園大学 国際禅学研究所設置
昭和62	花園大学 中国蘇州大学と学術交流協定締結
平成4	花園大学 社会福祉学部設置 社会福祉学科
平成6	花園大学 大学院文学研究科設置
平成7	花園高等学校 商業科を募集停止
平成10	花園大学 大学院社会福祉学研究科設置 花園大学 韓国東国大学との学術交流協定締結 花園大学 台湾佛学研究所と学術交流協定締結
平成12	花園大学 介護福祉士養成施設指定 [厚生省] 花園大学 歴史博物館設置 花園大学 大学院文学研究科博士(後期)課程設置 花園大学 社会福祉学部社会福祉学科福祉介護コース開設
平成14	花園大学 社会福祉学部福祉心理学科設置 花園大学 文学部仏教学科を国際禅学科に名称変更
平成15	花園高等学校 商業科を廃止 花園中学校設置
平成18	花園高等学校 自動車工学科を募集停止
平成19	花園大学 社会福祉学部福祉心理学科を臨床心理学科に名称変更 花園大学 臨床心理士養成課程(第1種)指定

平成20	花園大学	文学部文化遺産学科設置
	花園大学	文学部創造表現学科設置
	花園大学	文学部史学科を日本史学科に名称変更
	花園大学	文学部国文学科を日本文学科に名称変更
平成21	花園大学	社会福祉学部児童福祉学科設置
平成22		生涯学習センターを開講
平成24	花園学園	創立150周年記念事業準備室設置
平成25	花園大学	文学部国際禅学科を仏教学科に名称変更
	花園学園	創立150周年記念事業事務棟（又玄館）設置
平成28	花園中学校	中高一貫スーパーグローバルZENコース新設 中高一貫ディスカバリーコース新設
平成29	花園大学	留学生別科設置

(3) 設置する学校・学部・学科等

設置する学校	開校年月	学部・学科等
花園大学	昭和24年2月	文学部
		社会福祉学部
		文学研究科
		社会福祉学研究科
		留学生別科
花園高等学校	昭和23年4月	全日制（普通科）
花園中学校	平成15年4月	
洛西花園幼稚園	昭和56年4月	

(4) 学校・学部・学科等の学生数の状況

(単位：人)

学校名		入学定員数	収容定員数	現員数
花園大学	文学部	165	780	702
	社会福祉学部	240	960	905
	文学研究科	17	36	22
	社会福祉学研究科	10	20	6
花園高等学校		320	960	1,009
花園中学校		80	240	199
洛西花園幼稚園		100	280	171
合計		932	3,276	3,014

(平成30年5月1日現在)

(5) 役員の概要

理事長	栗原 正雄
常務理事	松井 宗益・上沼 雅龍・野口 善敬・堀尾 和良・丹治 光浩・石田 斉 福田 篤
理事	清水 良正・小山内 定代・土方 弘道・本間 愛教・鬼頭 孝道
監事	若山 昌子・人見 智裕

(平成30年5月1日現在)

(6) 教職員の概要

(単位：人)

区分		法人本部	花園大学	花園高等学校	花園中学校	洛西花園幼稚園	計
教員	本務	0	75	70	25	13	183
	兼務	0	217	29	4	12	262
職員	本務	6	52	19	1	1	79
	兼務	0	1	6	6	0	13

(平成30年5月1日現在)

2. 事業の概要

(1) 事業の概要

<法人本部>

1. 各設置校の活性化による「建学の精神の具現化」
2. 花園学園創立150周年記念事業の継続推進
3. 監査業務の実施、設置校との連携強化

<大学部>

建学の精神具現化のため、『花園大学 Zen to you&you 中期ビジョン2021』に掲げる以下の目標に取り組む。

1. 教育力の強化
2. 研究力の強化
3. 学生支援力の強化
4. 就職支援力の強化
5. 経営力の強化

<中学・高校部>

1. 建学の精神に基づく教育の実践
2. 夢を育て高い目標を持つ
3. 21世紀型教育の取り組み
4. 健全な学校運営

<幼稚園部>

1. 基本的な生活習慣の形成
2. 教職員の質の向上
3. 安全・安心の幼稚園づくり
4. 健全な幼稚園運営

(2) 主な事業の目的・計画及びその進捗状況

<法人本部>

1. 各設置校が建学の精神に即し、学生・生徒・園児に魅力ある学びの場を提供するように努めた。
2. 花園学園創立150周年記念事業趣意書を同窓生・旧職員に発送。記念事業実施に向けた寄付の御協力を呼びかけた。
3. 大学内にて内部監査を実施。また、監査人同士の情報交換もおこなった。

<大学部>

1. 建学の精神に基づき、主体的に考え行動する人材を育成するため、学生一人ひとりを大切に丁寧な教育を実践するとともに、専門教育を強化した。
2. 研究力を強化するため、諸分野の研究成果を国内外に公表したほか、外部資金の獲得や研究活動の活性化に向けた取り組みを推進した。
3. 学生一人ひとりが安心して学業に専念し、充実した学生生活を送れるようにするため、担任制度の実施や学生相談支援室への専任カウンセラーの配属などにより、学生への相談・支援機能を強化した。
4. 個々の学生にマッチした就職支援を実施するため、キャリア教育を充実するとともに、個別カウンセリングや就職ガイダンスなどの支援を強化した。
5. 財務基盤の強化と組織の活性化を図るため、広報・募集活動を強化したほか、働き方改革法を踏まえた業務のあり方について検討会議を設けて協議した。

< 中学・高校部 >

1. 予測困難な時代に突入し、人工知能の発達・利用と変化が著しい中で、本学の建学の精神である「禅のこころ」の実践を通し、普遍的な人の心を養い、教育に生かすことに努めた。
2. 学校での生活を通じて、生徒達それぞれの夢を芽吹かせるとともに、将来に向けてより高い目標を目指して努力できるよう担任を中心に、教科、進路・生活指導係等と連携を取り、総合的な指導をおこなった。
3. 大学入試制度の変更を控え、生徒個々に目標を持たせ、基礎・基本を身に付けさせた上で、自己の考えをまとめて発表する実践を通して、主体的に課題を発見し、解決に向けて努力できる資質・能力を養うよう努めた。
4. 財政の健全化に努めるため、広報活動の充実を図り、新入生を中学、高校でそれぞれ迎えた。中長期を見据え、また150周年事業としてキャンパス整備計画の立案をおこなった。

< 幼稚園部 >

1. 妙心寺派御協力の下、仏参の指導、園児とのふれあい、日々の保育から宗教情操教育を実践し、相手を思いやる心を育んだ。また、自分で考え、思いを相手に伝えることができるようになった。
2. 保育者間で教育要領、園の方針などの共通理解を深め、園内での研修を実施した。また、園外の研修にも率先して参加し、職員会議で研修内容を深めた。
3. 危険を未然に防ぐとともに、教職員が即対応できるよう訓練を実施。消防署職員の方に避難訓練をしていただくなど、防犯・防火・防災体制の充実を図った。
4. 地域の未就園児親子が参加できる行事を実施し、昨年度より参加者が増加した。また、預かり保育も継続実施した。150周年に向けて、園舎等の改修を計画し、次年度より着工することとした。

3. 財務の概要

(1) 経年比較

① 貸借対照表

(単位：千円)

	平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末
固定資産	28,132,462	27,844,626	27,757,453
流動資産	3,588,081	3,698,531	3,589,116
資産の部合計	31,720,544	31,543,158	31,346,569
固定負債	986,858	995,744	935,228
流動負債	515,959	587,016	687,770
負債の部合計	1,502,818	1,582,761	1,622,999
純資産の部合計	30,217,726	29,960,397	29,723,570
負債の部及び純資産の部合計	31,720,544	31,543,158	31,346,569

(千円未満は切り捨て)

② 収支計算書

ア) 資金収支計算書

(単位：千円)

収入の部	平成28年度	平成29年度	平成30年度
学生生徒等納付金収入	2,744,517	2,640,404	2,622,404
手数料収入	62,525	61,584	71,033
寄付金収入	74,432	100,141	78,716
補助金収入	860,357	867,003	880,094
受取利息・配当金収入	140,127	153,304	205,611
資産売却収入	1,915,745	1,515,453	419,215
付随事業・収益事業収入	6,653	15,594	21,158
雑収入	175,067	60,548	153,130
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	366,286	417,642	482,208
その他の収入	3,084,039	562,889	269,470
資金収入調整勘定	△ 572,787	△ 468,716	△ 582,857
前年度繰越支払資金	3,201,734	3,384,631	3,586,566
収入の部合計	12,058,699	9,310,481	8,206,753

支出の部	平成28年度	平成29年度	平成30年度
人件費支出	2,430,518	2,275,784	2,434,521
教育研究経費支出	1,017,898	1,067,138	1,107,676
管理経費支出	277,742	330,147	331,021
借入金等利息支出	2,949	2,351	1,820
借入金等返済支出	35,888	35,888	35,888
施設関係支出	21,015	56,547	67,026
設備関係支出	55,766	34,023	84,494
資産運用支出	4,625,039	1,694,149	681,384
その他の支出	233,027	285,570	136,894
資金支出調整勘定	△ 25,778	△ 57,685	△ 87,518
次年度繰越支払資金	3,384,631	3,586,566	3,413,544
支出の部合計	12,058,699	9,310,481	8,206,753

(千円未満は切り捨て)

イ) 事業活動収支計算書

(単位：千円)

教育活動収支	事業活動収入の部	科 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
		学生生徒等納付金	2,744,517	2,640,404	2,622,404	
		手数料	62,525	61,584	71,033	
		寄付金	66,245	88,256	71,935	
		経常費等補助金	859,023	867,003	876,660	
		付随事業収入	6,653	15,594	21,158	
		雑収入	153,421	41,393	131,083	
		教育活動収入計	3,892,387	3,714,236	3,794,277	
	事業活動支出の部	科 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
		人件費	2,397,256	2,302,292	2,377,033	
		教育研究経費	1,411,729	1,457,474	1,483,120	
		管理経費	321,953	375,616	374,842	
		徴収不能額等	0	159	219	
		教育活動支出計	4,130,939	4,135,544	4,235,216	
教育活動収支差額			△ 238,552	△ 421,307	△ 440,938	
教育活動外収支の部	事業活動収入の部	科 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
		受取利息・配当金	140,127	153,304	205,611	
		その他の教育活動外収入	0	0	0	
		教育活動外収入計	140,127	153,304	205,611	
	事業活動支出の部	科 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
		借入金等利息	2,949	2,351	1,820	
		その他の教育活動外支出	0	0	0	
		教育活動外支出計	2,949	2,351	1,820	
	教育活動外収支差額			137,178	150,953	203,791
	経常費収支差額			△ 101,373	△ 270,354	△ 237,147
特別収支の部	事業活動収入の部	科 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
		資産売却差額	3,490	3,900	465	
		その他の特別収入	10,738	13,120	11,262	
		特別収入計	14,229	17,021	11,728	
	事業活動支出の部	科 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
		資産処分差額	9,613	3,995	11,407	
		その他の特別支出	0	0	0	
		特別支出計	9,613	3,995	11,407	
	特別収支差額			4,615	13,026	320
	基本金組入前当年度収支差額			△ 96,757	△ 257,328	△ 236,826
基本金組入額合計			△ 123,645	△ 293,431	△ 180,000	
当年度収支差額			△ 220,403	△ 550,759	△ 416,826	
前年度繰越収支差額			1,620,620	1,402,432	854,922	
基本金取崩額			2,216	3,250	157,255	
翌年度繰越収支差額			1,402,432	854,922	595,351	

科 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業活動収入計	4,046,744	3,884,562	4,011,617
事業活動支出計	4,143,502	4,141,891	4,248,444

(千円未満は切り捨て)

(2) 主な財務比率比較

(単位：%)

比率名	算式	28年度	29年度	30年度
事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	-2.4	-6.6	-5.9
基本金組入後収支比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入}-\text{基本金組入額}}$	105.6	115.3	110.9
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒納付金}}{\text{経常収入}}$	68.1	68.3	65.6
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	59.4	59.5	59.4
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	35.0	37.7	37.1
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	8.0	9.7	9.4
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	695.4	630.1	521.8
負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	5.0	5.3	5.5
純資産構成比率	$\frac{\text{純資産}}{\text{純資産}+\text{総負債}}$	95.3	95.0	94.8